

事項	なし園における複合交信かく乱剤オリフルア・トートリルア・ピーチフルア（コンフューザーR）の使い方		
ねらい	果樹用交信かく乱剤コンフューザーRはモモシンクイガ、ナシヒメシンクイ、リンゴコカクモンハマキ、ミダレカクモンハマキ、リンゴモンハマキに有効であり、りんごではすでに導入されている。果樹複合が盛んな県南地域のなし園で本剤の効果を確認したので、参考に供する。		
指導参考内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 コンフューザーRは5月下旬までになし園に10 a 当たり100本設置する。 2 コンフューザーR設置は広範囲で行い、設置面積は最低1 ha以上が望ましい。 3 コンフューザーR設置初年目は殺虫剤の削減は行わず、設置2年目から対象害虫及び対象外害虫の発生状況に合わせて削減する。 4 モモシンクイガの発生は県南地域では7月下旬～8月中旬に多くなるので、発生のパークとなる8月上旬には、西洋なし及び日本なしの病害虫防除暦で採用されているシンクイムシ類防除剤を必ず使用する。 		
期待される効果	コンフューザーRの利用がなし園にも広がり、県南地域での普及が図られる。		
利用上の注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 本資料は平成21年3月2日現在の農薬登録に基づいて作成した。 2 農薬を使用する場合は、必ず最新の「農薬登録情報」(http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/)を確認すること。 3 コンフューザーRの設置方法等はりんご果樹課資料372号「りんごの交信攪乱剤利用マニュアル」に準ずる。 4 コンフューザーR設置園及びその周辺の未設置園ではフェロモントラップを使用し、対象害虫の発生動向を把握する。 5 コンフューザーRの対象外害虫が発生した場合は防除薬剤を散布する。 6 本散布体系を導入する場合は、必ずJAの営農指導員や地域普及指導室に相談する。 		
担当部署 (担当者名)	農林総合センターりんご試験場県南果樹研究センター (村井智子、成田治)	対象地域	県南地域
発表文献等	平成12～14年度 りんご試験場県南果樹研究センター試験研究成績概要集 平成15～19年度 農林総合センターりんご試験場県南果樹研究センター試験研究成績概要集 平成18年度 寒冷地果樹研究会資料 平成17～19年度 青森県有害動植物発生予察事業年報		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 南部町相内におけるコンフューザーR対象害虫のフェロモントラップへの誘引状況

(平成12～19年 青森農林総研りんご試県南果研セ)

区		年次	モモンクイガ	ナシメシクイ	リンゴコカクモンハマキ	リンゴモンハマキ	ミダレカクモンハマキ
実験区	コンフューザR 利用前	平成12年	1,255	—	—	—	—
		13年	1,279	—	—	—	—
		14年	875	—	—	—	—
		15年	985	—	—	—	—
	コンフューザR 利用後	16年	5	1	0	0	—
		17年	0	0	0	0	—
		18年	0	0	0	0	0
		19年	0	0	0	0	0
対照区	16年	212	5	174	270	—	
	17年	455	128	58	513	—	
	18年	348	184	65	378	627	
	19年	342	236	47	260	586	

(注) 1 実験区のコンフューザーR設置本数：平成16年；120本/10a（設置面積170a）、平成17年；120本/10a（設置面積86a）、平成18～19年 100本/10a（設置面積345a）、2年目以降験区内に殺虫剤削減区(85a)を設置

2 対照区（殺虫剤慣行防除区）：30a 3 —：調査なし

表2 南部町相内におけるコンフューザーR対象害虫の果実被害（被害果数／調査果数）

(平成16～19年 青森農林総研りんご試県南果研セ)

区	年次	モモンクイガ		ナシヒメシクイ		ハマキムシ類	
		西洋なし	日本なし	西洋なし	日本なし	西洋なし	日本なし
実験区	平成16年	0/42	—	0/42	—	0/42	—
	17年	0/50	0/50	0/50	0/50	0/50	0/51
	18年	0/50	0/50	0/50	0/50	0/50	0/50
	19年	0/50	0/50	0/50	0/50	0/50	0/50
対照区	平成16年	0/52	—	0/52	—	0/52	—
	17年	0/50	0/50	0/50	0/50	0/50	0/50
	18年	0/50	0/50	0/50	0/50	0/50	0/50
	19年	0/50	0/50	0/50	0/50	0/50	0/50

(注) 1 —：調査なし

2 調査方法：9月に切断調査

3 供試品種：西洋ナシ；「ゼネラル・レクラーク」、日本ナシ；「幸水」

4 収穫日：平成16年；9月22日、平成17年；「ゼネラル・レクラーク」9月22日、「幸水」9月20日、平成18年；9月21日、平成19年；9月10日

3 南部町相内におけるハマキムシ類による葉の被害（平成19年 青森農林総研りんご試県南果研セ）

区	西洋なし		日本なし	
	調査葉数（枚）	被害葉数（%）	調査葉数（枚）	被害葉率（%）
実験区	900	0	900	0
対照区	900	1.0	900	8.4

(注) 1 調査方法：6月7日に各樹種それぞれ3樹各300葉調査

2 発生種：ミダレカクモンハマキ（越冬世代）

3 コンフューザーR設置年数：4年目